Creative Enzymes®

ネイティブ・ポーキン・パンクレオザイミン

Cat. No. NATE-0113

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	コレシストキニンは、脂肪とタンパク質の消化を刺激する消化管系のペプチドホルモンです。コレシストキニンは、以前はパンクレオザイミンと呼ばれており、小腸の粘膜上皮にあるI細胞によって合成され、腸の最初の部分である十二指腸に分泌され、膵臓と胆嚢からそれぞれ消化酵素と胆汁の放出を引き起こします。また、空腹感を抑制する作用もあります。最近の証□は、コレシストキニンがモルヒネやヘロインのようなオピオイドに□する□物耐性を誘導する主要な役割を果たし、オピオイド離脱中の痛みの過敏症の□験にも一部関与していることを示唆しています。
用途	コレシストキニン（CCK）は、脂肪とタンパク質の消化を刺激する消化管系のペプチドホルモンです。これは、脳、腎臓、膵臓の機能、ならびに生殖行動やグルコース耐性を研究するために使用されます。
別名	コレシストキニン、CCK、CCK-PZ; 9011-97-6; パンクレオザイミン

製品情報

種	豚の
由来	豚の腸
CAS登□番号	9011-97-6
活性	2-6 クリック単位/ mg 固体

保管・発送情報

保存方法	2-8°C